

県連ニュース

2017年 4月号 NO-548



竹田城 遠景 2015.04.09 撮影
滋賀山友会所属 北村 光雄 さん 提供

滋賀県勤労者山岳連盟

目 次

ご挨拶		2
寄稿	エッセイ	3
案内	第 45 回 清掃登山-速報-	4
	テーピング超入門講座 (救助隊)	5
	近畿ブロック搬出技術講習会	6
報告	第 15 回 理事会議事録	9
	第 41 回定期総会議事録	10
	全国評議会 報告	16
	頸城 放山東斜面滑走 山行報告	17
	あなたも山に登りませんか	19
	ぐうたら理事長のつぶやき	20
予 定 表		21
総会時訂正資料		

ご挨拶

滋賀県勤労者山岳連盟
会長 秋田 誠

湖の岸辺で美しい夕暮れを眺めながら、将来の夢は何？と娘に尋ねた父親が、パパの夢は何なの？と娘に問い返され、夢を見失っている自分にはっと気づくというテレビコマーシャルがありました。歳をとると日々の暮らしに追われ、「将来」とか「夢」なんて言葉はほとんど死語になりがちです。今、私たちには、若者にも魅力を感じてもらえる組織づくりという難しい課題が与えられています。「将来」とか「夢」をキーワードに県連の活動を進めることがこの難問解決への答のひとつになるのではないのでしょうか？ 5年先、10年先にも滋賀県連が山を愛する人びとの楽しい集まりであり続けるよう、土台づくりに少しでもお役に立ちたいと思います。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

総会を終えて

第41回県連総会は皆様のご協力が無事に終える事ができました。ありがとうございます。組織活動や、放射線測定、決算、予算について、40周年やハイキングセミナー、山の日など多方面に渡る様々なご意見をいただきました。すべての事が出来るわけではありませんが、一つでも二つでも実施して来年の総会には良い報告が出来るようにしたいと思います。会員拡大や教育活動など課題は山積みですが、何かをやらなければ前に進みません。失敗を恐れずに様々な事にチャレンジしたいと思います。皆様に満足していただける活動は出来ないかも知れませんが、少しでも前に進み県連が発展するように頑張りたいと思います。今後ともご協力をお願いするとともに、ご意見やご希望なども理事の方を通してお寄せいただければありがたく思います。

理事長 友永 芳和

「老人、老い難き・・・に」

彷徨倶楽部：高田 忠雄

「老人」という言葉が嫌い、、な わけではない。
「老」は、毛・人・ヒを合わせた字。ヒは、「化」で“変化、”を表す。
髪の色が白く変化する。 髪の色が長い人が背を曲げて杖をついている像形文字だったとする説もある。古来「老」は、“良い意味、”で使われた。
(漢字学習文庫)

人間、いつかは「老」になるが、仕方がない。
よく醸した酒は「老酒」、何代も続いた店を「老舗」、若くても学識のある人を「老師」・・・ わざわざ「老人」を「年寄り」とか「高齢者」とか「シルバー」とかに言い換える必要はないのでは～と思っている。
気になるのは「老人の目安」のこと。行政がいう「65歳は高齢者」が、どうも納得いかない。

ある日のスポーツ新聞記事に アメリカ野球独立リーグで、元大リーガーの投手ビル・リーが先発。8安打4失点で完投勝利を挙げた。
遅～い球に緩急を付ける頭脳的な投球だが、さすがに一塁ベースカバーに入った時、ヘトヘトと両膝に手をつくような場面もあった……。白髪のサウスポーは、1200人満員の観客の声援を背に、自身が2年前に作った「プロ野球選手の最年長勝利記録」を更新した。これが「高齢者」なのか？と。

週刊誌が「ひとは何歳までセックスできるのか？」高齢者向け特集を組むと売り上げがグ～ンと上がる～と。高齢者どうしの不倫・浮気に婚活・再婚が増えてラブホテルは高齢カップルが多いとか。ともかく、「65歳(以上)」は元気はつらつなのだ。
「老人」が「高齢者」と言い換えられてから、その目安がバラバラになった。高齢者(65歳～74歳)と、後期高齢者75歳(75歳以上)に分けたり、今、高齢者を75歳からにしようとする見直し議論があったり。税制上の老人扶養親族は70歳以上であったり・・・と。

日本は「祝い年」と言う目安がある。
60歳が還暦、70歳は古希、77歳は喜寿、80歳は米寿・・・この辺りでは、さすがに「老人」と呼びたい気分でもある。90歳は卒寿、99歳は白寿、100歳は百寿。人生この辺りがおしまいかと思ったら～ 108歳の茶寿、111歳の皇寿、120歳は大還暦。

IPS細胞や、がんの特効薬ができれば・・・人は死ななくなるだろう。
老人、老い難き時代に……。総務省の発表で、65歳以上の人口が3460万人を突破している。いつかは「65歳以上」が人口の半分に。と、いう時が来る。
「敬老の日」なんか もういらんのと ちがうかいなあ～。

湖国の豊かな自然を次の世代に！あなたもできる自然保護！

第45回
2017年

クリーンハイク

(清掃登山)

5月28日(日) 小雨決行

6月4日(日) 小雨決行



今年度の清掃登山は、5月28日(日)と6月4日(日)の両日(予定)に実施します。県連ではすでに関係自治体への支援要請文書を発信するなどの準備に着手しました。会員の皆さんには清掃登山の日程を予定に組み込んでいただくようお願いします。

また、広報チラシ印刷の日程の都合がありますので、各会はチラシに記載する実施日、担当コース、集合場所・時刻、申込先及び責任者を確定して、4月5日(水)の第2回理事会までに、各会理事または下記県連担当(北村)までご連絡ください。

県連担当(北村)： km0603@ee.e-mansion.com
090-5246-5009

テーピング超入門講座

--- まずは足首捻挫のテーピングから ---

救 助 隊

山行中に思わず足首をひねってあわや捻挫！そんな経験ありませんか？山で捻挫したり膝を痛めたりすると困ったことになりますね。そんなとき、テーピングを知っていると慌てずに済みます。テーピングで足のトラブルを予防することもできます。まずは足首捻挫のテーピングをマスターしていざという場合に備えましょう。

〔日 程〕 2017年 **4月6日(木)** 19:00 - 20:30

〔会 場〕 **県連事務所**

京阪石坂線「栗津」駅下車2分（下の地図参照）

〔内 容〕 ・テーピングの考え方
・テーピングテープの扱い方
・足首、足裏、膝のテーピング（実技）

☆足首内反捻挫のテーピング法を動画と実技で完全マスターします。

〔募集定員〕 10名（定員に達し次第締め切ります。）

〔受講料〕 1,000円（テーピングテープなどの材料代を含む）

〔持ち物〕 筆記用具、記録用のスマホ又はデジカメ（持っている人）

〔申込み／問合せ〕 TEL 090-3727-3721（秋田）

又は e-mail : marumeno@yahoo.co.jp

〔締切り〕 2017年 **4月5日(水)**



第 38 回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

▼尾根搬出、岩搬出、岩のセルフレスキュー

- 日時 2017年4月2日(日) 7:30 受付開始 8:00~15:00 雨天決行、警報発令中止
- 受け付け 百丈岩やぐら前 受け付け後の集合はやぐらの奥の河原
- 場所 百丈岩周辺 (JR 道場駅より徒歩約 30 分)
- 内容 ファーストエイド 吊り上げ吊り降ろし、引き上げ引き下ろしシステムのロープレスキュー、背負い方法等のレスキューシステムを実践で学ぶ。
- コース
 - 尾根コース・岩コース (初級者・経験者コース)
 - 岩セルフレスキューコース
 - ※受付にて希望コースを申し出てください。(岩セルフレスキューコースは先着 10 人です)
- 装備
 - 尾根コース：ヘルメット*、ハーネス*、自己確保用装備*、安全環付カラビナ*、スリング*、デイジーチェーン又はパス、確保器、カラビナ等
 - 岩コース・岩セルフレスキューコース
 - ヘルメット*、ハーネス*、自己確保用装備*、確保器*、安全環付カラビナ*、デイジーチェーン又はパス*、カラビナ*、クイックドロワー*、スリング*、アブミ、ハンマー等
 - ※ 1 *は必須。 ※2 上記の他、各コースとも一般装備 (行動食、水筒、雨具等) 必要。
- 対象者
 - 岩登りの経験があり、搬出技術の向上を目指す方。
 - 「岩セルフレスキューコース」は搬出技術講習会参加経験者で主に岩登りをされる方のみとします。
 - 新特別基金、又は、それに準じる山岳保険加入者。
- 資料代
 - 1 部：300 円をいただきます。昨年の資料とほぼ同じです。
 - 昨年の資料をお持ちの方は訂正分のコピーをお渡しします。

- ★ 参加を希望される方は事前に所属会を通じて氏名・性別を各府県連盟へ連絡お願いいたします。

<特記事項>

- 雨天決行です。当日の朝の7時30分時点で警報発令時は中止します。
- 訓練中の事故等に対しては自己責任での安全確保をお願いいたします。ヘルメットのない方は参加できません。
- 前夜泊は鎌倉峡河原にてテント泊可能です。

申し込み・問合せ先

滋賀県勤労者山岳連盟救助隊事務局まで

友永 芳和 電話番号 080-4971-6231

メールは yt19481013@yahoo.co.jp です。

第38回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

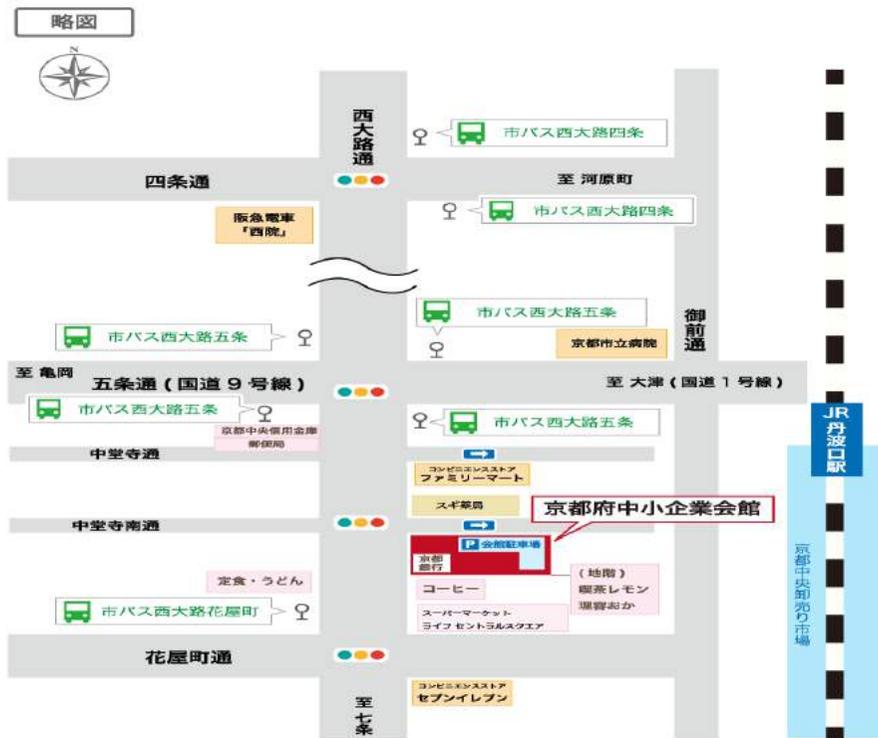
ハイキングコース

- 日時 2017年4月2日(日) 9:00 受付開始 9:30~15:00 雨天決行
- 集合・会場 京都府中小企業会館【京都市右京区西院東中水町17番地】
- 電話 075-314-7171
JR 花園線丹波口駅より徒歩約10分／西大路五条下がる東側すぐ
阪急電車西院駅より徒歩15分、又は市バス2002番205番乗車、西大路五条下車
- 持ち物 山行時の装備一式
(行動食、水筒、雨具、ストック、三角巾、スリング<120cm・60~100cm>、カラビナ等) 昼食
- 内容 応急手当、搬出技術
- 対象者 ハイキングの山行リーダー及びハイキングでのレスキュー技術の習得を目指す方。
- 資料代 1部300円 昨年の資料とほぼ同じです。
昨年の資料をお持ちの方は訂正分のコピーをお渡しします。

<特記事項>

- 講習中の事故等に対しては自己責任でお願いいたします。
- 軽登山靴、または運動靴で参加可能です。
- 参加を希望される方は事前に所属会を通じて氏名・性別を各府県連盟へ連絡お願いします。
- 車でお越しの方へ

会場には駐車場がありますが他団体含め多数の方が利用されると満車になります。会場近くのコインパーキングをお探し下さい。



<申し込み・問合せ先>

滋賀県勤労者山岳連盟救助隊事務局まで

友永 芳和 電話番号 080-4971-6231

メールは yt19481013@yahoo.co.jp です。

2016年度 第15回 理事会報告

3月1日(水) 19:00~20:30 県連事務所

出席；秋田、北村、奥野、友永、宮内、堀部、大月、長谷川、佐藤、小林、高玉、
中島(記録) (理事会定数 15名)

欠席；連絡あり 西村、東郷、池田

★下記の議題について、報告 協議 決定しました。

1. 総会準備 (報告と協議)

- ・日程 3月12日(日)13:30~18:00(受付開始 13:00)

理事はスポーツ会館玄関ホールに12:40集合

- ・総会代議員 定数 21名

山友(5名)、雪稜(4名)、岳友(4名)、彷徨(3名)、ちごゆり(3名)、シャクナゲ(2名)

- ・総会役員

議長：雪稜/ちごゆり 資格審査：岳友 選挙管理：彷徨/山友

- ・総会役割分担(別紙で担当を決める)

- ・総会までの日程 3/8(水)13:00~ 総会準備・資料集印刷 製本 14:00頃~

2. 各部報告

組織部；前月末の会員数 (2017・2E/2017. 1E)

山友会	84/84	岳友会	48/48	雪稜会	49/50	彷徨	18/18
ちごゆり	17/17	シャクナゲ	5/5	合計	221/222	(99.5%)	

※前年度末比 221/232 95.3%

教育部、遭対部、自然保護部：特になし

財政部：連盟費第1期入金済み

機関誌部：4月号の原稿締切 3/15 印刷・発送 3/20

救助隊：2/15.3/15 搬出打合せ&講師研修 3/25 近プロ全体講師研修

4/2 会場 京都市中小企業会館 滋賀県より講師3人派遣

CSS、SKI-NET:県連ニュース行事予定参照

3. その他

- ・40周年祝賀会で座談会を行うのであれば、事前にインタビューして県連ニュースに掲載すればどうか。講演会を開催したほうが良いのではないかと。祝賀会参加者全員に記念品を配ってはどうかと意見があった。

→次年度の理事会で検討する。

- ・第1回評議会報告 2017/2/18~19 晴海グランドホテル(秋田会長参加)
- ・第1回自然環境セミナー 3/11 オリンピック記念青少年センター
- ・第51回六甲全山縦走大会 兵庫県連 3/12(日)

■次回第41回定期総会は3/12(水) 13:00~スポーツ会館

滋賀県勤労者山岳連盟 第41回 定期総会 議事録

平成 29年 3月 12日 (日) 於：滋賀県立スポーツ会館

2階 第2会議室

書記担当者：奥野 豊 (比良雪稜会)



定刻 13:30 平成 29年 3月 12日 召集代議員定数 21名 本人出席者 19名
委任状出席者 2名 合計 21名を受付担当理事確認。

司会者 (奥野副理事長) 開会宣言。秋田会長の開会挨拶を拝聴。来賓ご臨席のもと、全国連盟 花村 哲也副理事長及び兵庫労山 芳谷 隆男理事長のご挨拶後、本総会あてメッセージの紹介代読。本総会議長を理事会指名につき出席代議員賛同・承認を受け、議長団による議事運営委員・資格審査委員兼務の人選を議長に一任。友永理事長による第4号議案提案。選挙管理委員選出。以後、別紙総会次第に沿い審議入り

選出議長団：議 長 ちごゆり山歩会：柴田 英男氏、比良雪稜会：今村 健治氏

総会役員：議事運営委員・資格審査委員 (兼務) 湖南岳友会：平山 勝規氏

選挙管理委員 滋賀山友会：金原 敏幸氏 彷徨倶楽部：乾 久子氏

メッセージ：大阪府勤労者山岳連盟・京都府勤労者山岳連盟・奈良県勤労者山岳連盟

新日本スポーツ連盟 滋賀県連盟 以上尊名のみ (順不同)

資格審査委員報告：連盟規約第 8 条による総会の成立要件である代議員の過半数を充

たしていることを確認。本総会成立宣言 平山 勝規氏 13:58

議事運営委員報告：本総会における議事運営について報告 平山 勝規氏 同 刻

第4号議案について選挙管理委員による運営提案 友永 理事長 14:00

選挙管理委員による新年度役員立候補の受け付け報告 14:03

【別紙議案書による一括提案と報告】 友永理事長 14:05

第1号議案：(1) 2016年度 活動報告

〔総括報告〕

1. 登山に関連する社会の動き
2. 組織拡大の活動
3. 主要行事 (1) 清掃登山 (2) 登山祭典 (3) 40周年記念行事
4. 労山会員の遭難事故と対策
 - ①国内山岳遭難の概況
 - ②労山内での山岳遭難の概況
 - (2) 会計決算報告
 - (3) 会計監査報告 (会計監査：我妻 慈功氏・谷村 與一氏)

14：32

14：33 第2号議案：2016年度活動計画案

14：35 第3号議案：2016年度会計予算案

【休憩宣言】 14：45

【審議再開】 14：55

14：55 第1号議案から第3号議案までの一括質問受付宣言 柴田 英男議長

【一括質問 以下専門部ごとに集約】

質問に対しては誠意説明に努力、意見・要望・主張については拝聴

□質問等は○印 回答は※印にて表示

【自然保護部関係】

○登山道の空間放射線量測定場所について、違った場所での測定が必要ではないか。

※ 個人山行で普通の登山道での測定しかしていない。

放射線測定等の活動は福島原発事故後に素朴な疑問から始まり、その趣旨を受け継いで近畿ブロックの自然保護委員会でも放射能測定器を買って測定を始めた経緯がある。あくまでも登山道の周辺が対象であり、あえて値の高いところを探して測定するのではない。ただし継続的に測定しデータとして記録を残していく。滋賀県連としては近畿ブロック自然保護委員会の活動に協力していく。

○登山道の空間放射線量測定は、県連としての活動か個人の活動なのかわからない。

※ 個人活動ではなく、県連活動である。

測定器を近畿ブロックから借りるため、諸条件も限られている。あらかじめ早い段階で日時を決め、自然保護部として活動案内を出し、参加者を募集し実施できるよう努力をする。

- 会独自の測定活動をしているが、今後県連と共同で実施して県連の測定活動に協力しても良いと思っている。「希望」
- 宍山自然保護憲章のことについて総括されていない。理事会としてどのように考え、とらえているのか。
- 憲章の基本姿勢に基づいて、清掃登山や水質調査や放射線測定等実際の活動をしている。憲章のベースとなる基本事項、根本精神は一人々が知っておくべきで、ただ単に県連ニュースに掲載するのではなく、紙媒体で広報した方が良い。

『ハイキングセミナーに関する質問』

- 広く会員拡大の観点から、清掃登山と登山祭典は広く一般参加者を募り、連盟が主体となって活動するとなっているが、具体的な総括や反省がなされていないのでは。
- 昨年度は会員を増やす目的のハイキングセミナーが計画されたが、どのように検討計画され運営されたのか具体的な報告がなされていない。今年度はどのように反映されるのか、連盟としてどのようにサポート・バックアップしていくのか。
- 会員に周知させるには口頭だけでは浸透しないので、紙媒体が必要ではないか。
- 取り組み方が理事会全体のものになっていないのではないか。

※ 県連とし会員拡大の手段として急ではあるが計画を立てた。他県連の成功例を見ると、登山教室や登山セミナーなどを通して入会した例が多いので、具体的に案を出し募集をかけたが参加者がなかったために中止せざるを得なかった。

【具体的計画案から中止時点までの経緯を詳細に説明】

講師となる人材を育てなければ登山教室も開けないので、そのための講習会を実施し、今年度は教育部の方で会員を対象とした読図セミナーから始めたい。その後、講師が育てば一般の方にも広げていきたいと思う。また県連としの公開山行も会員拡大のために実施する方向である。

- 県連ニュースの『ぐうたら理事長のつぶやき』に掲載されているハイキングセミナーとは？県連活動なのか個人活動なのか、理事会で整理をしてほしい。

※ あくまで個人的なもので他意はないが、誤解を与えるといけないので今後は改め理事会でも整理をする。

○ハイキングセミナーが中止になった場合の正式な説明は講師にはあったのか。

※ 中止になった経緯は報告してある。

【関連質問】

『その他会員拡大等についての意見・提案・要望』

○会員拡大のためには、ターゲットを絞って細分化しジャンルに沿った取り組みを。

○ボランティアガイドから山行を通じて山岳会所属のメリットを伝え、納得して入会する方もある。

○県連行事の日曜開催の幅を広げて、土曜日も活用しては。

○全縦の在り方、意味づけについても再検討する時期に来ていると思われる。

○昨年制定された『山の日』に、県連としての行事が組まれていなかったが、山をアピールするためにも何かアクションを起こした方が良いのでは。

○総会で出た意見を理事会の中で整理して方向性を決めてほしい。

※ 山岳会自体が若い人たちを受け入れる魅力のある団体ではなくなったのではと反省している。ただ単に会員を増やすのではなく、リーダーシップを執れる会員を増やすべきであり、組織のレベルアップも図りたい。

※ 全縦については、以前は会員拡大のためであったが、一般参加者の減少に伴い会員の体力を試すための重要な行事になっている。会員の高齢化に伴い自己の現状の体力を知る上でのバロメーターにもなるので無理をしないで参加してほしい。

※ 『山の日』については、具体的行事として煮詰められなかった。

【財政部関係】

※事務的な処理項目についての訂正と、補足的説明を備考欄に記載の指摘あり（対照項目：全国連盟費・近畿ブロック等）

※訂正資料を直近の県連ニュースに掲載することの承認を得た。

○2016年度会計決算報告の支出の部、雑費項目に挙げるのではなく、活動費としてあげたほうが良いのではないか。簡易トイレの普及を目指したものであり、登山祭典の主たる活動費だと思う。

○HPの経費の確認

【40周年記念事業関係】

【意見と提案】

○40周年記念式典の現時点での取り組み方を教えてほしい。

連盟会員全員に何か還元する方法を取ってほしい。その費用は支持されると思う。

座談会を前倒して開催か、事前にインタビュー記事を県連ニュースに掲載しては。

○座談会も歴史回顧するのではなく、これからの県連はどうしていけば良いのかといった前向きな内容の座談会にしてほしい。

※先の理事会で所属会からの意見や提案があったので、新年度理事で前向きに検討していく。

【遭難対策・救助隊関係】

○補助金支給の基準はどうなっているのか

※安全対策基金は会員数によって全国連盟から支給されている。

使用目的は安全対策・遭難対策であり、有効活用できる資金である。遭難対策部の講演会、AP講習会の一部、救助隊の講習会等で活用している。

○新特別基金の後払い制度はしっくりこない。遭対基金制度に戻す選択肢はあるのか。

※地方連盟からの要望として、全国連盟の理事会で検討する

花村全国連盟副理事長



「花村 哲也 副理事長」

【採 決】

1号議案から第4号議案までを採決

16:15 資格審査委員による本総会成立の要件充足確認報告

16:17 第1号議案 報告事項のため第1号議案の採決は拍手にて承認

16:18 第2号議案(2016年度活動計画案) 採決事項のため挙手にて承認

同 刻 第3号議案(2016年度会計予算案) 採決事項のため挙手にて承認
金原選挙管理委員より新年度連盟役員の立候補締め切り報告後、
いずれも定数を超えないため当選の旨報告あり。

リスト配布読み上げ

16:22 第4号議案 2016年度役員選出を報告事項のため拍手にて承認

【休憩宣言】 16:23

16:23 第1回理事会を別室にて開催。理事長、副理事長、事務局長を互選

【審議再開】 16:32

16:32 議長団解任・総会役員解任 退任の挨拶

16:35 退任役員の紹介と退任挨拶及び新任役員の紹介と就任挨拶

- 退任理事(敬称略): 湖南岳友会 大月 英子 西村 良雄
比良雪稜会 小林 智子
彷徨倶楽部 佐藤 眞知夫

■ 2017年度承認役員(敬称略)

会長 秋田 誠(彷徨倶楽部) 副会長 北村 昌文(湖南岳友会)

理事

彷徨倶楽部: 長谷川 伸次 乾 久子(新任)

滋賀山友会: 友永 芳和 宮内 真子 中島 英男 高玉 啓子 池田 信一

湖南岳友会: 東郷 京子 川端 久美子(新任)

比良雪稜会: 堀部 史男 奥野 豊 今村 健治(新任)

会計監査: シャクナグ廻行クラブ我妻 滋功 ちごゆり山歩会: 谷村 與一

16:45 北村 昌文副会長による閉会の挨拶を拝聴

司会者による終了宣言にて本総会を閉会、散会。

16:43

全国評議会報告

滋賀県勤労者山岳連盟
会長 秋田 誠

日本勤労者山岳連盟（以下、全国連盟）の第32期第1回評議会（以下、全国評議会）が、3月18日～19日（日）に東京で開催されました。全国連盟は2年をひと区切りとして活動しており、これに合わせて2年に1回総会を開催します。総会と総会の間年には全国評議会が召集され、地方連盟から選出された評議員によって前半1年間の活動の総括と会計決算、および次の1年の活動方針と予算を審議します。評議員定数は地方連盟の会員数に応じて決められており、滋賀県連は1名です。

今回の評議会では次の議案が審議され、原案どおり承認されました。

1. 第32期上期の活動の総括および下期の活動方針
2. 「ROUSAN パートナース制度」廃止
3. 第32期上期の会計決算および下期の予算

■第32期上期の活動の総括

急速な高齢化に伴う会員数の減少に歯止めのかからないことが報告されました。労山会員の年齢構成は60歳以上の高年層に大きく偏っているため、年と共に会員数が減少するのは当然です。根本的な解決策は若い会員を増やすことです。しかし、山登りが若者に一定の人気を集めているにもかかわらず、若者を労山に取り込むための決定的な方法は見出せていません。多くの地方連盟が会員を減らす中で、京都府連盟は30名以上会員を増やし、目標としていた1,000名の大台を突破しました。連盟傘下の各会が末組織登山者向けの登山教室を積極的に開催していることが奏功しているようです。私たちも今後、京都府連盟の経験を参考にすべきでしょう。

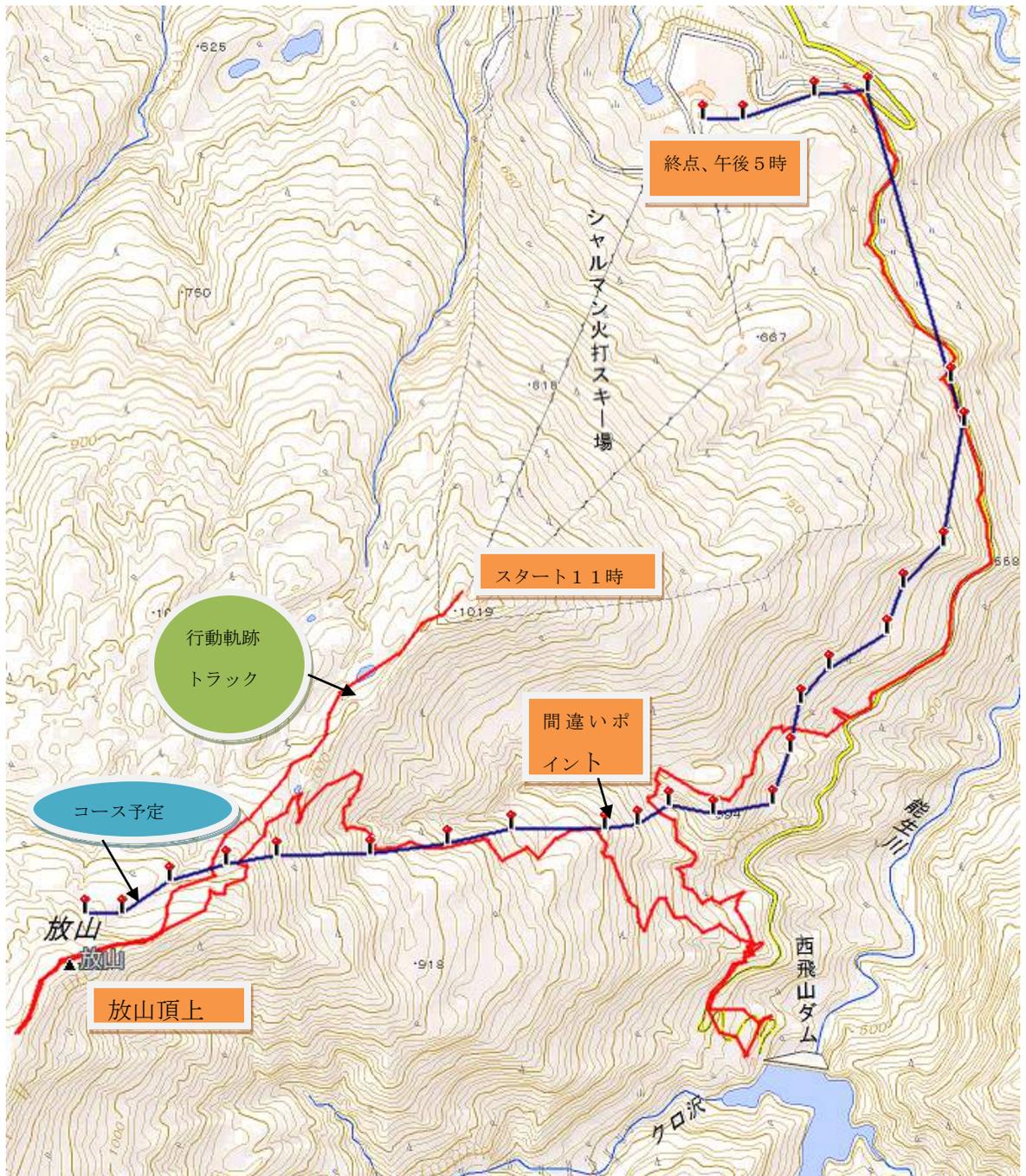
前回の総会で承認された広域理事会制度が軌道に乗りつつあることが報告されました。広域理事会制度は、首都圏のみから選出されていた全国連盟理事を首都圏以外の地方連盟からも選ぶことにより、全国理事会を強化しようとするものです。インターネット普及がこの制度の導入を後押ししました。広域理事会を意義ある会議とするため、安定した会議システム（ハードウェア）の確立と会議の透明化が求められます。

■「ROUSAN パートナース制度」廃止

組織拡大をめざして、2012年の総会で承認された「ROUSAN パートナース制度」でした。全国連盟理事会が中心となり、東京、福岡、石川など6つの地方連盟を実証区に選んで取り組まれました。しかし、当初目標に掲げた会員数10,000名はおろか、制度を安定的に運営するために必要とされる1,500名の会員確保も及ばず、今後も大幅な状況の改善は期待できないことから、残務整理の時間を考慮して、この制度を1年以内に廃止することが承認されました。これまでの最大会員数は177名で、現在の会員数は120名余りとのこと。この「ROUSAN パートナース制度」は組織拡大のための挑戦的な取り組みでした。失敗の原因を徹底的に分析・評価して今後に生かすこと、そして、この失敗に臆することなく、組織拡大に向けた取り組みを今後も積極的に続けることが必要です。

■評議会議案書

評議会に配布された議案書と資料集は県連事務所に置いてありますので閲覧してください。



頸城 放山東斜面滑走 (山スキーネット活動) 記 ; 番浦

日程 2017.2.26 メンバ : 村田、谷内、宮原、濱、番浦

天候 : 曇り～晴れ～曇り～湿雪

好天の滋賀から北上するにつれ大雨、霧、曇りと悪化するが、リーダーの『やります』で、決行する。シャルマンスキー場着。天候が回復するまでグレンデを滑走。非圧雪のスキー場と

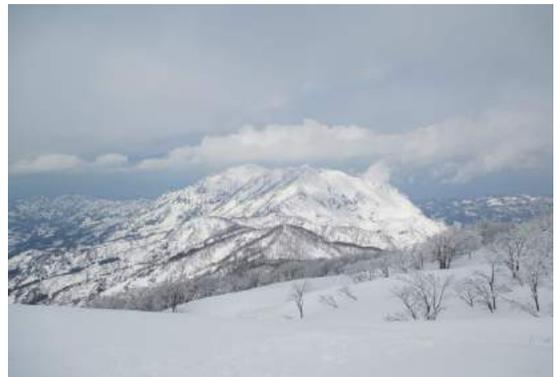
評判らしいが、シュカブラばい雪質で身体全身力が入り、既に汗だく。さあ、天候も回復で 11 時にスキー場トップから入山しようとするが、パトロールがチョイマチ！！『労山滋賀県連に出しています』と言っても『出して下さい』。ああ、また時間ロス。

漸く出発。青空が権現山をくっきり見せてくれる。パウダーでシールの載りも上々 (*^_^*) 途中、焼山、北面台地、火打のヨーロッパアルプス風品格ありきの素晴らしい風貌が見れる。来てよかった！頂上 (12:30) 着。

尾根沿いに滑走。滑りだし地点は、雪庇の付け根。さあ、ドロップイン。豪快な凹面雪原。斜度も 35 度くらいで、少し重い雪だがロッカーのヘッドがグングン雪面を泳ぐ。気持ちいい。途中、ボードの数日前のトレースがあり。日本カモシカ夫婦に出会う。トップ者がルートより段々右寄りに入っていく。(こらっ、そっちじゃないよ) と言うが、断固として行ってしまう。何度も GPS のルート線を確認するが、西飛山ダムの方に下りていく。いたるところ雪崩のデブリが、転がっている。沢上で、スキーがはまり、新人の H さんは辛そうです。ダム近くまで行くと林道らしき長い平面が見えるが、行き止まり。川に下りたら大変なことになる。カモシカ夫婦が登っていた 694m の小山が正解。重い牡丹雪が降る中、シールを付けての登りかえし 1.5 時間。694m のコルから林道沿いに下りる。斜度のないなが〜い林道をテクテク歩く。午後 5 時。漸く携帯の電波が届く地点に着き、ゲレンデ組と連絡とれる。パトロールに無事であることを伝えてもらう。5 時 30 分、県道のヘアピンカーブにたどり着く。ゲレンデ組が車で待っていてくれる。心配掛けてすみません。

午後 5 時時点を超えての帰還。反省点はいっぱいです。①この東尾根斜面は 4 月の林道に雪がない(林道上を徒歩) が、時期的に適。②参加者でこのルートの経験者はおらず。北尾根経験者はいたが。③酒井正裕氏著山スキールートガイド 105 を読み切れていない。独自にコース取り出来る力量のメンバーはいない。パトロールも最近このルートを行ってる人はいないとのこと。④リーダーが GPS を持っていない。悪天候になったが、机上の記憶(ダムの上の林道が頭にあってそこから戻るという思い込み) に頼った。⑤間違っていると気付いた時に、強く言い含めるべきだった。

経験者がいないコースを行くときは、精細なコース精査(インターネットでは今回のルートはヒットしなかったし、ネットの丸のみは危険) をすべきことが身にしみる。



株滋賀民報社から、山を安全に楽しむための記事を、滋賀民報に執筆するよう依頼がありました。これを受け、登山を経験したことのない方や初心者等を主な対象として、山の話や遭難を防ぐための話を執筆することになりました。滋賀民報は週刊ですが、2月から今年12月まで月1回（第3週目）の連載で、友永理事長と、北村副会長が分担して書くことになりました。県連ニュースにも毎月その記事を転載します。

「山を安全に楽しむための登山教室」 ①あなたも山に登りませんか

滋賀県勤労者山岳連盟 北村 昌文

最近では登山ブームといわれています。たしかに最近山に行くと多くの登山者に出会います。しかも以前は少なかった若い人が増え、カラフルな服を着た女性の「山ガール」という言葉も生まれました。昨年は8月11日が「山の日」としてスタートしました。

富士登山も大ブームで、シーズンには行列ができるような状態で、一度は富士山に登りたいという人も増えているようです。また、人気コースの山小屋はシーズンには大混雑で、テント場も満員の状態です。登山に関する雑誌、本も、私たちが山を始めた1970年代には考えられないような種類があります。

でも、なぜこんなに皆が山に登るのでしょうか。有名な登山家の「そこに山があるからだ」という話が伝えられていますが、これは答えになっていませんね。

健康のため、きれいな景色を見るため、山での食事がおいしい、空気がきれい、山での会話が楽しいなどいろいろなことを聞きますが、別にしんどい思いをして自分の足で山に登らなくても、できることもかもしれません。

私もなぜ山に登るのが答えられませんが、しんどい山登りをしていると「こんなことなら家でゆっくりと寝ていた方よかった」と嫌になることもあります。でも、下山するとすぐに、「今度はいつ来ようかな」と考えています。

別に山に登る理由などを考えることは必要ないのでしょうか。一度山に登れば、また登りたい、無条件にそう思わせる魅力が山にはあるのだと思います。

でも、同時に、山には危険が一杯です。最近では毎年、山で全国では300名以上の死者・行方不明者と3000名程度の遭難者が出ており、滋賀県でも平成27年は9名の死者がありました（いずれも警察庁資料）。この中には登山だけでなく、山菜取りや観光による数も含まれていますが、遭難者数の4分の3は登山です。こんなに危険な遊び、スポーツは他にはありません。

ですから、安全に山を楽しむためには、正しい知識、技術が必要となります。



私達、滋賀県勤労者山岳連盟には6の山岳会があり、山の好きな約230名の会員で構成されています。これから約1年間、皆様に山の魅力と、安全に山に登るための記事を書かせていただきます。

【写真説明】仲間と一緒に北アルプスの槍ヶ岳（長野県、3018m）を目指しています。重いテント泊の装備も担いで、この日だけでも10時間以上歩くという大変しんどい山行でしたが、頂上に立った時の感動は格別でした。

ぐうたら理事長のつぶやき

第 41 回県連総会は皆様のご協力で無事に終える事ができました。ありがとうございます。40 周年やハイキングセミナーなど様々なご意見もいただきました。まだまだ皆様に満足していただける活動は出来ていませんが、少しでも前に進み県連が発展するように頑張りたいと思います。今後ともご協力をお願いするとともに、ご意見なども理事の方を通してお寄せいただければありがたいと思います。

早速ですが、例年通り清掃登山の準備が始まります。何かとお手数をお掛けしますが、こちらのほうにもご協力をお願いします。また、例年行われている近畿ブロック救助隊の搬出講習会が 4 月 2 日に行われます。岩は兵庫の百丈岩周辺、ハイキングは京都の京都府中小企業会館で行われます。今年度は京都と滋賀が担当となっています。たくさんの方の参加を期待しています。県連としても参加費程度の補助はしたいと思います。よろしくをお願いします。

地図の話も第 3 回目となりました。測量よもやま話を幾つか紹介します。

① 富士山の高さ

富士山の高さは 3776m ですが、正確には大正 15 年に決定された 3776.29m です。ところが大沢崩れなどで次第に山頂が侵食されて破損の恐れがでたので、昭和 37 年に標石を埋めなおす事になりました。通常は 1.5m ほど低くなってしまいますので標高が低くなってしまいます。日本の象徴だけに何とか標高を維持しようと石材やセメントを運びできる限り低下を防ぎ、新しい三角点の標高は 3775.63m となりました。これで四捨五入すれば 3776m を維持出来る事になりました。

② 「三角点」という名の山

兵庫県西脇市には「三角点」という名前の山があります。2 等三角点で点標名は「上比延」となっています。登山者の間では「三角点山」として知られていますが(私は知りませんでした)、地元の方は「三角点」と単純に呼んでおられるそうです。

③ 五等三角点

普通は 4 等までしかないはずの三角点が、沖縄には 3 か所 5 等三角点が残っているそうです。興味のある方は調べてみてはいかがでしょうか。

4 月は少し遠出をしましょう。一等三角点の山「呉枯の峰」に行きたいと思います。

4 月 15 日 9 時 30 分木ノ本駅集合にします。各自の方の電車の時刻はわかりませんので、私の予定を書いておきます。8 時 04 分膳所駅発の電車に乗車し木ノ本駅に 9 時 24 分到着です。

木ノ本～登山口～呉枯の峰～菅山寺～坂口～(バス)～木ノ本のコースです。

参加していただける方は 4 月 12 日までに友永まで連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メールは yt19481013@yahoo.co.jp です。

行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名	
4			4	1-2	福井・銀杏峰、部子山	山友	
	2	近畿ブロック搬出技術講習会		2	3月例会(場所・思案中)	岳友	
	5	第2回理事会		8	マキノ(お花見)	ちご	
	8-9	五竜遠見尾根(スキーネット)		9	第46回定期総会(am)お花見山行	山友	
				9	武奈ヶ嶽北尾根～三重嶽	雪稜	
				15	吉野・青根ヶ峰～奥千本	山友	
	15-16	八ヶ岳(雪山基礎講座、CSS)		15-16	赤坂山～野坂岳	山友	
				16	金糞岳	岳友	
				16	俱留尊山	雪稜	
				20	ミーティング	彷徨	
				22	比良・ホッケ山	山友	
				22-23	音羽山～藤尾山荘	雪稜	
				23	深坂峠	ちご	
				29	ミーティング	岳友	
		29	三十三間山(公開野点山行)	雪稜			
		29	比良・八淵滝～神璽谷	山友			
5	2-7	八甲田(スキーネット)	5	1-2	千種越え	ちご	
				3-6	福井・赤兎山～経ヶ岳	山友	
	5-7	北ア・鹿島槍ヶ岳 (雪山基礎講座、CSS)		4	比良全縦/権現山～蛇谷ヶ峰	雪稜	
				7	横山岳	雪稜	
				13-14	女子テント泊(権現山～蛇谷ヶ峰)	雪稜	
				14	公開ハイク、海津・東山	山友	
				18	ミーティング	彷徨	
				20-21	比良全縦	山友	
				20-21	鈴鹿・イブネ～神崎川源流	山友	
				21	鈴鹿/鎌ヶ岳	雪稜	
				27-28	丹沢山(関東例会)	雪稜	
				27	比良・坊村～堂満岳	山友	
	28	第45回清掃登山(1)		28	北摂	ちご	
		28	清掃登山、綿向山	山友			
6	4	第45回清掃登山(2)	6	4	清掃登山、伊吹山	山友	
				4	清掃登山、金勝アルプス	山友	
				4	清掃登山/南比良2コース	雪稜	
				4	清掃登山(雪野山)	彷徨	
				4	清掃登山	ちご	
				9-13	韓国の山	彷徨	
				10	蓬萊北尾根～長池～汁谷	雪稜	
				15	ミーティング	彷徨	
				18	三重嶽～近江坂	雪稜	
				25	京都・金毘羅、クライミング	山友	
				25	福井経ヶ岳	雪稜	
				25	比良鶴川越	ちご	

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀

財務関係 補足説明

1.備考欄に追加項目入力

収入の部 県連連盟費 460円×会員 人×12ヶ月
 年会費 3600円×所属会数

支出の部 全国連盟費 130円×230人×12ヶ月
 近畿ブムロック会費 35円×30人
 年会費 3600円×所属会数
 機関紙 ホームページ管理費

2.決算報告と事業報告の一部訂正箇所

議案書p14

組織	40,000	13,125	
----	--------	--------	--

訂正箇所

組織	40,000	51,125	
----	--------	--------	--

議案書p14

雑費	10,000	38,000	簡易トイレ182個
----	--------	--------	-----------

訂正箇所

雑費	10,000	-	
----	--------	---	--

3.雑費訂正に伴う登山祭典決算報告の訂正箇所

議案書p16

第55回登山祭典会計決算報告

単位(円)

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
参加費	2,800	一般28名	チラシ印刷	3,290	
組織部予算	10,045		保険代	9,080	
			事務用品	475	
合計	12,845		合計	12,845	

訂正箇所

第55回登山祭典会計決算報告(総会での意

単位(円)

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
参加費	2,800	一般28名	チラシ印刷	3,290	
組織部予算	48,045		保険代	9,080	
			事務用品	475	
			携帯トイレ	38,000	40周年記念で配布
合計	50,845		合計	50,845	

収入の部				支出の部			
項目	予算	決算	備考	項目	予算	決算	備考
前期繰越金	203,046	203,046		全国連盟費	380,400	380,400	
県連盟費	1,335,360	1,278,780		連盟費	358,800	358,800	130円×230人×12
連盟費	1,313,760	1,257,180	450円×人×12	年会費	21,600	21,600	3,600円×6
年会費	21,600	21,600	3,600円×6	近畿ブロック会費	6,900	8,050	35円×230人
雑収入	250,000	256,261		専門部費	215,000	190,518	
印刷機使用料	10,000	10,000	山友会	教育	50,000	45,956	
事務所使用料	240,000	240,000	山友会200000/月	組織	40,000	51,125	
事業会計繰入		6,126	講演会	遭難対策	25,000	9,870	
その他		70	調整	機関紙	80,000	75,647	ホームページ管理費
利子		65		自然保護	20,000	7,920	
				会議費	235,000	227,418	
				全国連盟他	5,000	6,000	
				近畿ブロック	10,000	7,240	
				県連総会	20,000	12,558	
				理事会・各会代表者会	200,000	201,620	交通費等
				講習会参加補助	120,000	94,435	
				事務局費	64,793	54,408	
				事務消耗品費	40,000	30,600	
				印刷機リース料	11,793	11,793	
				図書費	3,000	3,120	
				備品費	10,000	8,895	
				通信費	80,000	72,361	
				電話料(KDDI携帯代)	70,000	66,843	
				郵送	10,000	5,518	
				装備費	20,000	18,600	
				救助隊費	40,000	41,279	
				事務所維持費	570,000	565,212	
				家賃	540,000	540,000	45,000円/月
				光熱費	30,000	25,212	
				雑費	10,000	-	
				予備費	46,313		
				次期繰越金		85,406	
合計	1,788,406	1,738,087		合計	1,788,406	1,738,087	

〔特別会計(積立金・預け保証金等)〕

項目	前期繰越金	当期取崩し金	当期積立金	当期利息	残高
事務所積立金	316,032	0	0	32	316,064
事務機積立金	166,869	0	0	17	166,886
遭難対策積立金	965,105	0	23,500	96	988,701
預け保証金(事務所貸借)	50,000				50,000
清掃登山特別会計	153,970		68,700	9	222,679
合計	1,651,976	0	92,200	154	1,744,330

会計監査報告 監査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。

2017年 2月 6日

会計監査

我妻滋功
谷村興一

印

印

会計に連結するその他の会計決算報告／清掃登山会計決算報告

第55回登山祭典会計決算報告(総会での意見を受け、一部訂正しました) 単位(円)

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
参加費	2,800	一般28名	チラシ印刷	3,290	
組織部予算	48,045		保険代	9,080	
			事務用品	475	
			携帯トイレ182個購入	38,000	40周年記念で配布
合計	50,845		合計	50,845	

比良縦走大会会計決算報告 単位(円)

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
参加費	22,000	参加者22名	接待材料費	13,054	CP、ゴール
タクシー代徴収	9,500		交通費	14,360	スタッフ交通費
遭難対策部予算	9,870		タクシー代	12,960	
			事務用品	816	
			保険代	180	
合計	41,370		合計	41,370	

2016年度アルパイン講習会会計決算報告 単位(円)

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
受講料	20,000	10000円×2名	講師スタッフ交通費	95,668	
全国安全対策基金	60,000	全国連盟補助	雪彦山コテージ使用料	2,400	終了山行
教育部予算	45,956		労山個人賠償保険等	14,480	講師・スタッフ 7名
			人口壁使用料	9,910	比良山岳センター
			事務費	3,498	コピー代等
合計	125,956		合計	125,956	

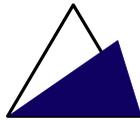
「山岳遭難事故の現実と対策」講演会会計決算報告 単位(円)

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
参加費	28,500	会員57名	会場費	9,380	付帯設備を含む
	31,000	会員外31名	講師謝礼	15,000	
全国安全対策基金	30,000	全国連盟補助	講師宿泊費	6,000	
			講師交通費	30,840	
			チラシ作成	4,270	
			送料	5,816	チラシ郵送料
			交通費	4,690	講師移動タクシー代等
			雑費	7,378	懇親会費用等
			余剰金	6,126	本会計へ繰り込み
合計	89,500		合計	89,500	

第44回清掃登山会計決算報告 単位(円)

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
参加費	33,600	200円×168名	チラシ印刷代	16,529	インク代・用紙・チラシ
補助金	65,000	県環境、他5市町	装備費・事務費・	1,934	ごみ袋、土嚢、軍手
広告収入	40,000	モンベル、他3社	交通費	28,520	
			郵送料	9,357	チラシ、しおり発送
			傷害保険料	13,560	
			余剰金	68,700	清掃登山特別会計へ繰込み
合計	138,600		合計	138,600	

滋賀県勤労者山岳連盟は
本年 40 周年を迎えました



原稿の投稿先（5月号は2017年4月15日〆切）
メールアドレス okunoyutaka@yahoo.co.jp まで

原稿はB5サイズ、フォント10~10.5で、使用する写真は
200KB以内として下さい。皆様のご協力をお願い致します。

「県連ニュース」№548

発行日 2017年3月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

〒520-0836

大津市杉浦町9-30

Tel 080-4971-6231

Eメール shigarosan@gmail.com

<http://shigarosan.jimdo.com/>

ゆうちょ銀行(店名418)普通0239956

発行責任者 友永芳和

編集委員 奥野 豊

高玉 敬子

東郷 京子